

委 員 会 行 政 調 査 報 告 書

令和5年7月31日

尾張旭市議会議長 殿

福祉文教委員長

秋田 さとし

本委員会は所管事務調査のため下記のとおり行政調査を行いましたので、報告します。

期 日 等	期 日	調 査 先
	令和5年7月25日	埼玉県白岡市
令和5年7月26日	埼玉県戸田市	
参 加 者	計 <u>7</u> 名	
	秋田さとし、櫻井直樹、いとう伸一、片渕卓三、榊原利宏 日比野和雄、松原たかし	
調 査 項 目 及 び 内 容	○埼玉県白岡市 「部活動の地域移行について」	
	○埼玉県戸田市 「教育改革について」	
	(行政調査の成果等は別紙にて報告)	
そ の 他	(1) 参考資料は別添のとおり	

福祉文教委員会行政調査報告書

委員長 秋田さとし

【埼玉県白岡市行政調査】

令和 5 年 7 月 25 日に埼玉県白岡市を訪問し行政調査を行いました。

○埼玉県白岡市：「部活動の地域移行について」

1 地域クラブ活動の導入について

- 白岡市では、市内に 4 校ある中学校の教職員の働き方改革と持続可能で多様な部活動を進めるために、平日に行われる中学校部活動と休日に行われる地域クラブ活動の併用に取り組んだ。
- 地域クラブ活動を導入するにあたり、令和 3 年度に地域部活動企画委員会を発足し、段階的に導入を進めるための検討を重ねた。初年度として、市内中学校の 5 運動部と 2 文化部でモデル事業を実施し、実証導入を行った。令和 4 年度では、実証実施段階として、市内 2 中学校の希望する部活動で地域移行を実施し、さらに令和 5 年度では、継続実施期間として、2 校が先行して休日の部活動を地域クラブ活動として実施し、残りの 2 校については、1 年遅れで進めていく。

2 地域クラブ活動における管理・運営について

- 白岡市は、地域クラブ活動に関する管理・委託業務をスポーツデータバンク社に委託している。
委託団体は、地域の大学やスポーツ少年団、各種スポーツ協会、小中学校などと連携をとり、指導者を開拓している。指導者は委託団体に所属し、謝金も委託団体から指導者に直接支払われる。
- 令和 5 年度からは、指導者の謝金や生徒・指導者のスポーツ安全保険などの経費のために、先行実施の 2 校については、受益者負担（月 7 5 0 円）を実施している。

3 実際の活動の様子と成果について

- 顧問は、専門スポーツの経験はないが、休日に行った練習メニューを平日に、生徒たちが自主的に練習に取り組む姿が見られ、生徒の教育面、教員の負担軽減ともに、効果は絶大である。
- 地域クラブ活動の指導者と学校顧問が連携して、練習メニューを決めている。地域移行後も学校顧問が余裕のあるときには、休日にボランティアとして一緒に指導している。
- 市内合同ダンス部があり、平日は他の部活動に所属する生徒が掛け持ちで参加するケースもある。学校の垣根を越えた生徒同士の交流もでき、多種多様な活動が可能である。

4 課題について

- 指導者の確保については、小中学校の教職員による兼職兼業を進めていくが、本来の業務に影響が生じないようにする必要がある。受益者負担額と保険料については、地域クラブ活動ごとに不公平感が出ないように、保護者への理解が必要になる。

5 行政調査の成果

- 白岡市の取り組みは、委託団体を活用した先進事例であったが、休日の部活動地域移行について段階を追った実践例であり、とても参考になった。本市の実態に合わせ、生かしていきたい。



【埼玉県戸田市行政調査】

令和 5 年 7 月 26 日に埼玉県戸田市を訪問し行政調査を行いました。

○埼玉県戸田市：「教育改革について」

1 戸田市教育委員会 教育長 戸ヶ崎勤氏について

○戸ヶ崎勤教育長とは、1954 年生まれ。元は数学の教員で、戸田市の小中学校の校長、同市や埼玉県の指導主事などを経て、2015 年から同市教育長。中央教育審議会など国の多くの審議会・有識者会議などで委員を務める。戸田市の教育改革を進め全国から注目される教育改革を行っている。

○市の取り組みは県内外からも注目され、教育委員会や学校に、例年 50 以上の団体が視察に訪れる。教育目標は「世界で活躍できる人間」の育成を目指し、子どもたちがこれからの時代を生き抜くためにどのような力が必要かを考え、国最先端の教育改革を進めている。

2 戸田市の教育の注目ポイント

○連携先は 70 団体以上！産官学民と連携した最先端の学びの導入
プログラミング キャリア・多様性教育 英語教育 経済教育
リーディングスキル教育（基礎的な読解力育成）

○社会で通じる本物の課題解決力を育成！ 戸田型 PBL（プロジェクト型学習）の推進 課題解決の流れと育成される力 課題解決力
創造力 主体性など

○公立学校情報化ランキング小学校 1 位 中学校 3 位！ EdTech
（Education×Technology）の推進

○特別支援教育、不登校児童生徒サポートなどの充実！多様なニーズ
への対応

○全国に先駆けた取り組み教育政策シンクタンクを設置！EBPM
（Evidence-Based Policy Making 客観的根拠に基づく政策立案）
の推進を掲げている。

3 行政調査の成果

○戸田市の取り組みは、産官学民連携を取っていて本市においても可能ではないか。教育は、「経験と勘と気合の3K」で続いているが、この職人型のスキル継承では、学校は持続不可能ということで、若手がみんな一定のスキルを身に付けられるように、教師の経験や勘、指導技術を言語化・可視化・定量化し、暗黙知を共有したり形式知へ転換したりすることで、若手に効率的・効果的に伝承するために科学的にしている。この戸田市モデルは、非常に興味深く日本の教育を変えるのではないかとも思える行政調査であった。

